

キヤノン ITソリューションズが ソフトウェア型の WAF 製品「SiteGuard」の販売を開始

キヤノン MJ IT グループのキヤノン ITソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：神森 晶久、以下キヤノン ITS）は、Web アプリケーションファイアウォール（WAF）製品「SiteGuard」（開発元：株式会社ジェイピー・セキュア）の販売を開始します。

■従来のファイアウォールでは守れない Web アプリケーションへの攻撃に対応

近年、サイバー攻撃は高度化し、Web サーバーや Web アプリケーションのぜい弱性を攻撃して、情報漏えいやサイト改ざん、Web サービスの停止などを狙う脅威が増加しています。従来のファイアウォール製品や IPS/IDS（不正侵入防御）製品による、ネットワークや OS レベルのセキュリティ対策では、これらの脅威を防ぐことが困難です。SQL インジェクションやクロスサイトスクリプティングなどの、Web アプリケーションのぜい弱性に対する攻撃には、WAF 製品による防御が効果的です。

SiteGuard は、各種の Web アプリケーションへの攻撃や侵入手法をデータベース化した定義ファイル「トラステッド・シグネチャ」を搭載しているため、導入時に攻撃パターン登録が不要で、すぐに運用を開始できます。さらに、新たな攻撃手法に対しては、トラステッド・シグネチャが自動更新されるため、システム管理者の手間をかけずに、最新の脅威に対応することが可能です。

■ネットワークセキュリティソリューションの提案を強化

キヤノン ITS は、これまでにも、ファイアウォール・UTM 製品や IPS/IDS 製品の販売を行ってきました。販売製品のラインアップに、WAF 製品の SiteGuard を加え、異なるネットワークレベルの対策をトータルで提案することで、お客さまの堅牢なセキュリティ環境の構築を支援します。

また、SiteGuard はソフトウェア製品のため、クラウド環境での利用にも適しています。キヤノン ITS と ジェイピー・セキュア社は連携して、AWS（Amazon Web Services）をはじめとしたクラウド環境でのセキュアな Web システムをお客さまに提案していきます。

■第 12 回 情報セキュリティ EXPO 春 に出展

キヤノン ITS は「第 12 回 情報セキュリティ EXPO 春」において、SiteGuard を出展し、ジェイピー・セキュア社のエンジニアにより実機デモを実施します。

会期：2015年5月13日(水)～5月15日(金)

会場：東京ビッグサイト 東ホール 43-23

主催：リードエグジビション ジャパン株式会社 (<http://www.ist-expo.jp/>)

出展案内：<http://canon-its.jp/event/expo2015.html>

-
- 報道関係者のお問い合わせ先：企画本部 経営企画部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603
 - 一般の方のお問い合わせ先：セキュリティソリューション事業部 03-6701-3437
 - キヤノン ITS ホームページ：<http://canon-its.jp/product/siteguard/>
-

■販売開始記念セミナーを開催

キヤノン ITS は「SiteGuard」の発売開始を記念してセミナーを開催します。HASH コンサルティング株式会社代表取締役 徳丸浩様による基調講演のほか、Web 運用やセキュリティ分野のスペシャリストによるパネルディスカッションも予定しています。

名称： セキュアな WEB サイト運用のためのワークショップ
～ハッカーが攻撃をあきらめる WEB サイトとは？～
日時： 2015 年 5 月 27 日（水）13:30～17:00（受付開始 13:00）
場所： キヤノンマーケティングジャパン株式会社 大阪支店
大阪府大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 18F
URL： <http://www.canon-its.co.jp/seminar/20150527psw.htm>

<SiteGuard について>

SiteGuard は、日本のインターネット文化を熟知した株式会社ジェイピー・セキュアによって開発された、純国産の Web アプリケーションファイアウォール（WAF）です。専門のネットワークセキュリティ・アナリストによってチューニングされた、高速で高品質のトラステッド・シグネチャを標準搭載し、多重防御機能と併用することにより、高水準の攻撃防御を実現します。

SiteGuard は、特別なハードウェアを必要とせず、Web サーバーに共存させるホスト型 WAF の「SiteGuard Lite」と、ネットワークに独立して設置するゲートウェイ型 WAF の「SiteGuard」の 2 つのラインアップがあります。ネットワーク環境や要件にあわせて選択できます。

<販売情報>

■ホスト型 WAF SiteGuard Lite

ライセンス数	新規価格（税別）	更新価格（税別）
1	252,000 円	126,000 円
2～5	216,000 円	108,000 円
6～10	192,000 円	96,000 円

■ゲートウェイ型 WAF SiteGuard

ライセンス数	新規価格（税別）	更新価格（税別）
1	1,780,000 円	534,000 円

- ※ 金額は 1 ライセンスあたりの単価です
- ※ 「新規価格」には初回契約時 1 年間の製品使用権とサポートサービスが含まれます
- ※ 「更新価格」には次年度以降における 1 年間の製品使用権とサポートサービスが含まれます。サポートサービスの内容は、「サポートデスクのご利用」、「トラステッド・シグネチャのご提供」、「最新ソフトウェアパッケージのご提供（お客さま ID を利用する専用ページよりダウンロード）」です。
- ※ ライセンス数はインストールする OS（仮想環境 OS 含む）単位でカウントします
- ※ 「SiteGuard Lite」のボリュームディスカウントは同一契約内でのみ適用となります
- ※ 「SiteGuard Lite」をプロキシ構成で利用することは原則不可となります（個別対応、別途ご相談）

<動作環境>

	ホスト型 WAF SiteGuard Lite	ゲートウェイ型 WAF SiteGuard
対応 OS	RedHat Enterprise Linux 5 / 6 / 7 CentOS 5 / 6 / 7 Scientific Linux 6 Ubuntu 10.04 / 12.04 ※Apache 2.2 または Apache 2.4 ※各 32/64bit (x86_64) に対応 FreeBSD 8 / 9 / 10 ※Apache 2.2 または Apache 2.4 ※各 32/64bit (amd64) に対応	RedHat Enterprise Linux 5 / 6 / 7 Cent OS 5 / 6 Scientific Linux 6 ※各 32bit/64bit (x86_64) に対応
CPU	Intel Pentium 互換 CPU (複数コアを推奨)	Intel Pentium 互換 CPU (クアッドコア以上を推奨)
メモリ	2GB 以上を推奨	4GB 以上を推奨
ハード ディスク	空きが 5GB 以上 (ログの保存期間等による)	空きが 20GB 以上 (ログの保存期間等による)
ネットワーク インターフェース	TCP/IP 接続、100BaseT 以上	TCP/IP 接続、100BaseT 以上

※仕様は予告なく変更する場合があります。